回復期リハビリテーション情報

2026年10月

Ⅰ. 退棟患者数　2026年7月 ～ 2026年9月

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟者数　50 名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数　36 名

②の内訳		患者数	割 合
(1)	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症後もしくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	9 名	25.0 %
(2)	高次脳機能障害を伴った重傷血管障害 重度の脊椎損傷 頭部外傷を含む多部位外傷の発症または手術後の状態	0 名	0.0 %
(3)	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折 または2肢以上の多発骨折	19 名	52.8 %
(4)	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	7 名	19.4 %
(5)	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	0 名	0.0 %
(6)	股関節または膝関節の置換手術の状態	1 名	2.8 %
(7)	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0 名	0.0 %

Ⅱ. 実績指数　2026年4月 ～ 2026年9月

③ 実績指数の計算対象とした患者数　75 名

④ ③の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和　2,420 点

⑤ ③の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和　43.7

⑥ 実績指数(④/⑤)　55.3 点

※ FIM（機能的自立度評価法　functional independence measure）
ADL(日常生活動作)を評価するツール。食事、排泄、移動などの運動項目(13項目)と、コミュニケーションなどの認知項目(5項目)から構成され、1～7点の点数で採点、合計する。